



平成31年度を迎えて

今年度は、4月で天皇陛下、皇后陛下がご退位されて5月から新しい元号が始まります。島田療育センターの創立記念日は5月1日ですから、島田も新しい元号とともに59年目を迎えることになるわけです。また来年は東京でオリンピック、パラリンピックが開催され日本も新しい国作りが期待されています。島田療育センターをはじめ日本の障害児者施設は障害者総合支援法、障害者権利条約批准のもとに大きく変貌を遂げようとしてい

ます。島田療育センターは数年前から新しいセンター建設を目標に、職員一丸となって財政の立て直しに力を入れてきました。平成31年度の方針として下記の項目をあげました。職員一同邁進して参りますので、皆様のご協力をお願いします。



院長 木実谷 哲史

平成31年度の方針 療育を見つめ直し組織力の強化、経営の安定化を図る

- 1 自治体との連携強化と安定的な経常利益を確保するため支出の見直しを行う
- 2 職場環境の見直し（職員間の接遇コミュニケーション）
- 3 業務効率の向上
- 4 一貫性のある人材育成体制の構築を進める
- 5 新センター建築計画の構築

平成31年度

主な行事予定・就学状況

4月	新職員オリエンテーション デイケアセンター入所式 第58回創立記念式 父母総合の集まり
5月	3病棟大遠足（西棟） 6病棟大遠足（1班） 2病棟大遠足（1班）
6月	7病棟大遠足（東棟） 1病棟大遠足（1班） 島田療育センター集談会
8月	成人を祝う会（予定）
9月	わいわい祭り
10月	3病棟大遠足（東棟） 7病棟大遠足（西棟） 6病棟大遠足（2班） 2病棟大遠足（2班） 5病棟大遠足（1班）

11月	1病棟大遠足（2班） 5病棟大遠足（2班） 島田療育センター集談会
12月	クリスマス会（入所・通所）
1月	デイケアセンター成人・新年を祝う会
2月	公開シンポジウム
3月	デイケアセンター卒園式

その他イベント予定

CAPP（4回実施）、各種音楽コンサート、多摩市障がい者美術作品展、各種講演会（セブクロバー）…など

東京都立多摩桜の丘学園在籍数（4月1日現在）

	本校	分教室	総数
小学部	0名	2名	14名
中学部	1名	5名	
高等部	2名	4名	

第18回 島田療育センター
公開シンポジウム

2月16日(土)

今回のシンポジウムでは、昨年の内容を更に深める機会としたく『パート2』として多摩地域における「本人・家族の一番近くで命を支える在宅支援の実際」や「在宅生活を支え、より充実させるための支援」について講師の方々よりご報告いただきました。

基調講演をお願いした宮田先生からは、今日の国内の医療的ケア児の現状と課題、訪問を含む在宅で受けられるサービスの充実が求められる理由についてご説明いただいた上で、クリニックや地域で取り組まれている活動をご紹介いただきました。在宅支援の充実のためには、本人・家族と他職種のチームが繰り返し話し合うこと、チームメンバーは其々の役割を分担して協働すること、その際に役割分担がバラバラにならないよう少しずつ役割が重なっているとスムーズであること、そして生活のネットワークと医療のネットワークがお互いに連携していくことが重要とお話くださいました。そして当センターの様な療育機関には、医療と福祉の双方の機能を活用して地域と繋がって欲しい、との期待のメッセージをいただきました。

話題提供の小保内先生からは、地域の中核病院が「広域を対象とする小児医療センター」と「在宅」の中間施設として果たしている役割として、亜急性期の転院やレスパイト、緊急時の受け入れ等についてご紹介いただき、病院としてのレスパイトの受け入れ体制や実状も詳



宮田 章子 氏
さいわいこどもクリニック
院長

しくご説明いただきました。また宮田先生からも課題として挙げられたキャリアオーバー対策として、多摩北部医療センターでは『生涯（障害）支援課』を新設し、成人期を迎えても切れ目のない支援を提供しようという取り組みを始めた、という興味深いお話がありました。

同じく話題提供の和田先生からは、主に都立特別支援学校における医療的ケアの内容や支援体制、今年度から開始された医療的ケアが必要な児への専用通学車両の運行についてご報告いただきました。学校も教員向けの医療機器の学習会を開催したり、学校看護師の体制強化等に向けた取り組みを模索したりと、変化する児童の状態像にできる限り対応しよう尽力されている状況をお話いただきました。

今回は多くの参加希望が寄せられ、テーマへの関心の高さが伺えました。参加者からは、第一線に出ている方々から在宅支援の実情や課題をわかりやすくお話しいただき、医療的ケア児・重心の現状、取り巻く課題や地域支援の様子がよく理解できた、というご意見を多くいただきました。我々職員、そして当センターは理念にある「地域に開かれたセンターを目指す」べく尚一層努めて参ります。演者の先生方、ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

(社会福祉士 市川 香織)



小保内 俊雅 氏
多摩北部医療センター
小児科部長



和田 慎也 氏
東京都 教育庁指導部
主任指導主事

第14回
心理講演会

1月19日(土)

1月19日(土)、厚生棟研修室にて第14回心理講演会を開催しました。今回は講師に当センター非常勤医師でもある、児童精神科医の市川宏伸氏に「発達障害の子どもの育ちを支えるアプローチ—乳幼児期から成人期までの特性を理解し、家族・地域で支援するために—」というテーマでご講演いただきました。

当日は、テーマに関心をお寄せ下さったご家族をはじめ、小学校や幼稚園教諭、保育士、学童クラブ・放課後等デイサービス職員、医療・福祉施設職員など多くの方々にご参加いただきました。市川先生は、児童青年精神科医として診療に携わりながら、日本自閉症協会会長、日本発達障害ネットワーク理事長などの役職を務められ、長年にわたり様々なお立場から発達障害に対する支援を継続されています。それとともに、ご自身も父親の立場から知的障害者施設の設定にご尽力されたという経歴をお持ちです。そのため、講義は発達障害の歴史的経過や現在の考え方を確認するとともに、生まれた頃から幼児期、就学期、成人期とライフステージに応じて話題となること多い課題について、先生の豊富なご経験



を基に具体的な事例を挙げていただきました。また、市川先生が父親として他のご家族と共に施設のために土地探し、設立準備と奔走された時期についてお話しくださったエピソードからは、並々ならぬご苦労と強い熱意が感じられました。そして、「発達障害がある方々の特性を生かす方法を考えること」「ご本人の良いところを探すこと」というポジティブなメッセージに、多くの参加者の方々が励まされたのではないのでしょうか。後半では、参加者の皆様からのご質問に温かく、かつ明快にご回答くださり、参加者の皆様からは「『わが子に自信を持ってもらう』ということを第一に考えていこうと思いました」などのご感想をいただきました。参加者の皆様、ご協力くださいました関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。
(公認心理師 眞田 恵)

心理講習会

子どもに寄り添う、行動の見方と関わり方

3月5日(火)

3月5日(火)に心理講習会を開催し、9名の保護者の方にご参加いただきました。講習会では、お子さんの行動・気持ちへの対応方法や親自身の気持ちの整理の仕方について、講義とロールプレイ等の体験を行いました。また、

「切り替えが難しい時の声かけの仕方は？」など事前いただいたご質問にお答えしました。アンケートでは、「いつ、どうほめたらよいかがよくわかった」「気づきがあり、実際に子育てに生かせそう」「自分自身の心が穏やかになり、もっと子どもの目線に合わせて気持ちにゆとりを持って接していけたらと思った」などのご感想をいただきました。今後も開催していきたいと思っておりますので、興味を持たれた方はぜひご参加ください。

(公認心理師 眞田 恵)

医療安全講習会

医療現場のヒューマンエラー

2月25日(月)

2月25日(月)、3月4日(月)の2日間(2回目はビデオ講習)、厚生棟研修室にて第2回医療安全講習会が開催されました。医療安全委員である歯科診療科の稲田先生より「医療現場のヒューマンエラー」というテーマで、人間の特性からどのようにしてエラーが起こるのか

など、動画視聴の実例体験も交えての講義でした。エラーをゼロにすることは出来なくても、それを事故にしないためにはヒヤリ・ハット報告とその対策、情報共有が重要です。また「事実だけを客観的に書く」という報告書の書き方練習として最後に例題が示され、それを解答して講習会は終了となりました。



(医療安全委員 中野 智子)

個人情報保護研修

2月4日(月)

2月4日(月)厚生棟研修室にて、全職員を対象とした「平成30年度 個人情報保護研修会」が行われました。今回はMS & AD インターリスク総研株式会社で、情報セキュリティ管理の支援・コンサルティング業務に携わっている松本和彦氏を講師にお招きし、「個人情報とは何か」「どんな個人情報漏えい事故が起こっているか」「標的型メールやSNSのリスク」「個人情報漏えい事故発生時

の影響」についてお話いただきました。1時間では足りない内容の濃い研修で、参加した職員は大切な利用者さまの個人情報を漏えいしないよう、普段の業務でどう気を付ければいいのか熱心に耳を傾けていました。研修後のアンケートでは「情報漏えい事故の怖さを再確認できた」「あらためて個人情報の取り扱いに注意したいと思う」といった声が多く、定期的に全体研修を行うことの大切さを改めて認識しました。島田療育センターでは個人情報の取扱いには一層気を引き締め、利用者様やご家族に安心してサービスをご利用頂けるよう努めたいと思っております。

(個人情報保護委員会 津野 一樹)

日野市立旭が丘小学校

合唱団コンサート

1月27日(日)

1月27日(日)の午後、厚生棟研修室にて、日野市立旭が丘小学校合唱団のコンサートを開催しました。指揮者の森平先生と生徒の皆さん20名、ピアノ伴奏者1名という構成です。この時期は、地域でも当センターでもインフルエンザの感染対策を慎重に行っていました。そんな

中、元気いっぱいの合唱団の歌声が会場内に広がりました。利用者様も笑顔と拍手で応えました。

(編集委員 高橋 節夫)



ソプラノ歌手 坂井田真実子様による

訪問コンサート

3月5日(火)

3月5日(火)の午後、厚生棟研修室にてソプラノ歌手：坂井田真実子様をお迎えしての訪問コンサートを開催しました。ピアノ伴奏は石井里乃様。お二人とも国立音楽大学で専門に学ばれてました。坂井田様の明るく楽しいトークと進行で、利用者様も大喜びでした。

みんなで合唱する場面も演出されました。素敵なソプラノの歌声とピアノ演奏で、会場が盛り上がりました。

(編集委員 高橋 節夫)



国士舘大学体育学部 介護等体験実習の受け入れ



今年度で介護等体験受け入れも20年目になりました。体育学部教職課程を受講する3年生を、当センターでの介護等体験実習という形で長きにわたり受け入れてきました。重い障害をもつ利用者様との

交流は、学生にとって貴重な体験になってきました。体育学科86名、武道学科59名、スポーツ医科学科9名を5月から12月まで受け入れます。

(編集委員 高橋 節夫)



おめでとうございます!

「NHKハート展」に入選!

第23回NHKハート展に、第1病棟の福岡琉璃亜さんが入選されました。このハート展は、詩とアートを組み合わせた展覧会です。障害のある方が書いた詩に込められた思いを、各界の著名人やアーティストがアート作品で表現していきます。50編の詩が、50のアートと出会い、新たなアートの世界を繰り広げます。応募総数3205編の中から50編選ばれ、その中に福岡さんの詩が選ばれました。



福岡さんは、車いすにセットされた文字盤やタブレットの文字を一文字ずつ指先で選んで自分の思いを詩として表現しました。一人では難しいところは、スタッフとの二人三脚で進めました。今回の入選は、がんばり屋の福岡さんへの最高のプレゼントになりました。(編集委員 高橋 節夫)

おしらせコーナー



第58回創立記念式

平成31年4月25日(木)に創立記念式が行われます。当センターは、今年で創立58年を迎えます。



ブログ・Facebookのご案内

島田療育センターでは、当センターの日常やイベントの案内をするブログ「ぽっけ」や、公式Facebookアカウントの運営をしています。よろしければご覧ください。



ブログ
ぽっけ



スマートフォン
こちらから



Facebook



スマートフォン
こちらから

shot! ひと息

春を待つグラウンドの花壇



実習生受入状況

平成31年2月～平成31年3月

種別	人数	種別	人数
看護師	6名	作業療法士	1名
保育士	7名	心理判定員	6名
介護福祉士	1名	※介護等体験実習の数は含みません	

